

2020年2月定例自然観察会実施報告書

5班 上条 隆雄

1. 概要

日時： 2020年2月8日（土）9:30～14:30

テーマ：冬の菊水山を歩く

コース：菊水山登山口 ～ 主に谷筋 ～ 菊水山山頂 ～ 管理車道 ～ 菊水山登山口

参加者：ビジター28名、会員36名（5班19名）

2/1 自主研修会の参加会員45名（5班17名）

説明リーダー（4班集体）：上条、倉本/古川、佐々木、濱田

（会員説明：福本）

2. 観察会内容

菊水山（標高459m）は六甲全山縦走路の中でも急坂のある山として知られている一方で、住宅街にも近く毎日登山する方もおられる身近な『まち山』でもあります。今回のコースは神戸電鉄鈴蘭台駅からの比較的緩やかな周遊ルートで、行きは主に谷筋を、帰りは管理車道を歩きました。

例年だったら一番寒さの厳しい時期にもかかわらず風は穏やかで日差しもあり天候に恵まれました。季節柄、特徴的な冬芽・樹肌の樹木を中心に説明をいたしました。

集合場所近くに冬の寒さを防ぐ毛皮のコートの冬芽をつけたハクモクレンがあり、冬芽観察に興味深く入っていけるシチュエーションでした。

登山道を歩いていくと縦溝の樹肌が目立つコナラが至る所に見られこの辺りは基本的にコナラ林であることをうかがわせます。

まだら模様の樹肌のリョウブ、白っぽくて滑らかな樹肌のタムシバ・タカノツメ・ヤブツバキ、灰色で滑らかなアラカシ、ささくれだったアカガシ、緑の縦筋が見えるウリカエデ、白っぽいイヌザクラ・黒っぽいウワミズザクラなどが観察されました。

一見、枝ぶりでは似通ったコアジトイとコガクウツギが冬芽では違うことがよくわかりました。同じようにタムシバとタカノツメでも幹は似ていますが、冬芽では異なっています。その他ガマズミ・コバノミツバツツジ・イヌザクラ・クロモジ・マルバアオダモ・ウラジロノキ・イロハモミジ・ヤマコウバシ・ニガキ等沢山の冬芽をじっくり観察することができました。

またオオバヤシャブシ・ヒメヤシャブシ・ハンノキのそれぞれの葉芽・雄花穂・雌花穂のつきかたの違いも観察しました。



開会式



ハクモクレン冬芽



コナラ樹肌



リョウブ樹肌



ほぼ予定通り山頂に到着し昼食後、展望台からの眺望を説明しましたが視界がいまひとつクリアでなかったのが残念でした。帰りは観察済みの樹木を復習しながら管理車道を歩き登山口に戻り、解散いたしました。ご参加ありがとうございました。

以上